

**未来社会創造事業 探索加速型探索研究**  
**事後評価結果**

1. 領域

「地球規模課題である低炭素社会の実現」領域

2. 重点公募テーマ

「ゲームチェンジングテクノロジー」による低炭素社会の実現

3. 研究開発課題名

超開花性による高バイオマス雑種オオムギ育種法の開発

4. 研究開発代表者名(機関名・役職は評価時点)

佐藤 和広(岡山大学資源植物科学研究所 教授)

5. 評価結果

評点: A (優れている)

総評:

本研究開発課題は、超開花性を有する変異体を活用して新たな雑種オオムギ育種法の開発を目指すものであり、他家受粉の効率向上によって、種子生産の飛躍的向上、高バイオマス性品種の獲得につなげる革新性の高い課題である。

探索研究期間では、オリジナリティーに優れた変異体の活用によって、世界の重要穀類であるムギ類の省力的 F1 作物化に貢献できる可能性を秘めた研究成果を得たと評価する。超開花性遺伝子、変異体、形質転換体の解析などで得られた成果は、学術的成果およびゲームチェンジング性も高く、オオムギ以外への展開の可能性についても期待が持てる。また、これらの成果の知財については、グローバルな展開を視野に、海外への大手種苗会社の動きを見ながら特許出願をしていることも評価する。

以上のことから、今後の研究開発が発展することを期待する。

以上